

共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第1966号 2020年11月15日

日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 Tel.0153-23-6023



11月7日、介護福祉の人手不足が深刻な状況が続く中、根室市内の介護事業所等に勤務する職員さん達が、市街地の沿道に立って市民へアピールをおこないました。

介護や福祉で働く人を増やそう 現場で働く職員さん達が街頭からアピール

11月11日の「介護の日」にちなんで、「介護のサービスは人手不足です」、「根室の未来のために一緒に働きませんか」、「根室の介護現場を一緒に守ろう!」などのプラカードを持って、通行するドライバー等に呼びかけました。

市内のデイサービスに勤務する戸田さんが、つながりの中で市内の各サービス事業所の職員等に参加を呼びかけ、当日は7事業所から20名以上が参加しました。

「初めてのことで参加してもらえるか不安でしたが、思った以上に多くの人が集まってくれて良かった。一人でも介護で働く人が根室に増えてくれれば、と思います」と、お話ししていました。

人手不足に加えて、いまコロナ禍で大変な苦勞をしている介護現場で実際に働いている方々が、こうして自ら声を上げたことが、とてもすごいなと思いました。

訪問入浴サービスも休止に

いま根室市でも介護福祉に携わる人材確保が大変に厳しい状況です。昨年は市内デイサービスの休業閉鎖がありました。ショートステイ等も利用が厳しいと聞きます。特に寝たきりの方などが利用する訪問入浴サービスが、看護職員の体制困難等のため、現在は休止しています。その間は清拭などで対応しているそうですが、長い間入浴できないことは、つらいことではないかと思えます。ぜひ市行政としても、訪問入浴サービスに対し、何らかの支援や対策を緊急に行っていたらいいと思います。

これまで市では市内の事業所との協議の場を設け、独自の新たな人材確保対策を検討している最中です。市担当課は、その施策を次期介護保険計画にも反映していきたいと、考えているそうです。ただ、介護や福祉事業所への介護報酬等が低すぎることは、人材困難の大きな原因です。国に対して、介護報酬等の抜本的な改善を強く求め、必要な介護サービスや福祉が十分に受けられない今の状態を何とかして改善させていかなければならない、と思います。

前市議の神忠志さんが 南部賞を受賞されました

11月8日、根室スポーツ協会による「令和2年度 南部賞表彰式」が開催されました。

南部賞は根室市のスポーツを支えた指導者等を顕彰する制度です。今年度は長年スケート競技の振興に貢献されてきたことに対して、前市議の神忠志さんと丸山マサルさんの二名が受賞しました。

お二人とも同じく昭和40年に、教員として市内の学校に赴任して以来、全国や世界で活躍する選手を多数送り出すなど、55年にわたって根室市および管内のスピードスケート競技の指導・普及に尽力してこられました。

神さんは当時の様子を振り返りながら、「この賞はスケートのために様々な協力いただいた皆さん全体のものとして受け止めています。55年もの長い間スケートに関わられたのは、根室の寒い自然環境があり、また地域の方や行政の協力のもと公認スケートリンクが出来たこと、何日もの大会準備や夜を徹してのリンク作りなど、大変多くの方々の尽力があったから」と先達や関係する方々への謝辞を述べていました。



汗して働く人を切り捨てるな

前衆議院議員 畠山 和也

再び新型コロナウイルスの感染が広がっています。これまでも「休業と補償はセット」「雇用調整助成金の延長・拡充」「医療機関の減収補てん」など求めてきましたが、引き続き要請していきます。

お困りごとなどは、遠慮なく日本共産党へご相談ください。

広い北海道は医師・看護師が足りないうえ、みずからの感染リスクもあるために、検査体制・医療体制を確保することに大変な苦勞があります。社会保障予算を抑え続けてきた、政治の責任の重さを痛感します。各地の実態を聞くたび、真っ先に「自助」を掲げた菅首相への腹立たしさが込み上げてきます。

まことにおめでとうございませう。

お二方の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

デジタル化の進展とコロナ禍での需要減少が重なり、日本製紙鋸路工場が紙生産の終了を発表しました。衝撃的です。地元との雇用と地域経済を守ることに力を尽くさなければなりません。

私が育った宮城県石巻市にも日本製紙の工場があります。前身である十條製紙の名の方が私にはなじみがあって、工場周辺の事業所へ弁当を配達する親についていた記憶があります。汗を流して働く大人の姿や、わが家の食堂も社会とつながりあっているのだと知ることができたのでした。

政府の成長戦略会議では、コロナを機に「中小企業の数を中心以下」との主張が出ています。地域に根づく業者や働く人を冷たく切り捨てる発想に、私は怒り心頭。日本共産党を躍進させ、「必ず政権を変える」思いでいっぱいです。